

セミフレキシブル半硬性コルセット のアンケート調査

増田医院

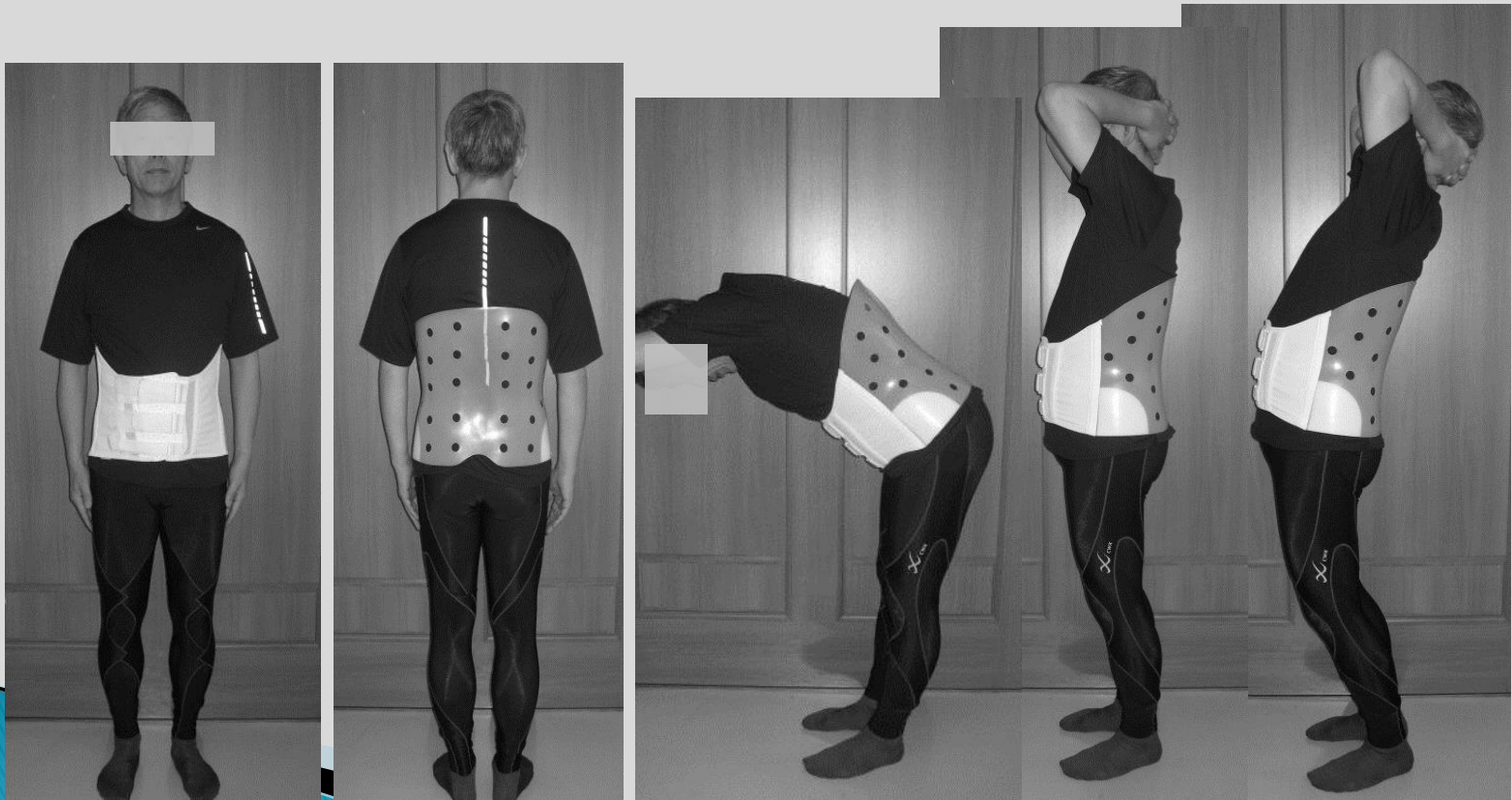
増田 和人

葵義肢

橘 秀一

セミフレキシブル半硬性コルセット

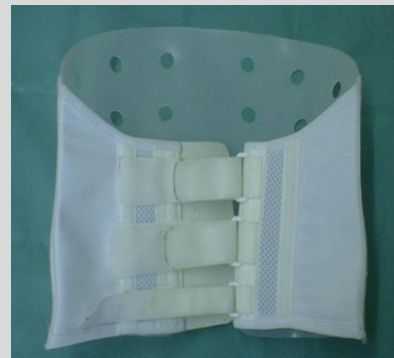
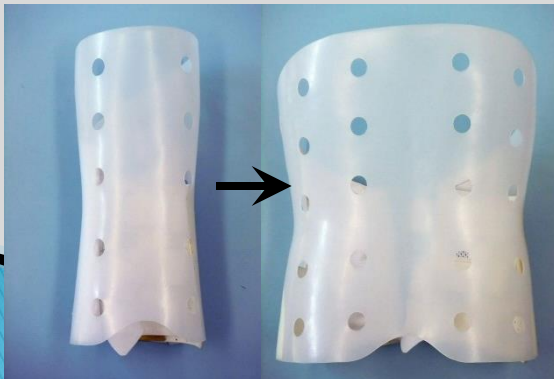
2005年に慢性腰痛のある腰椎不安定症患者に対し1mm～1.5mm厚の軟性ポリプロピレンを利用した半硬性コルセットを作成した



この半硬性コルセットは軽いが半筒型である為、
縦方向に対する固定は良好であるが、回旋に対する
固定性は少ない

又、従来の半硬性コルセットより柔らかい為、セミ
フレキシブル半硬性コルセットとした

作製開始より7年が
経過したので、今回
アンケート調査を
行った



アンケート調査対象者

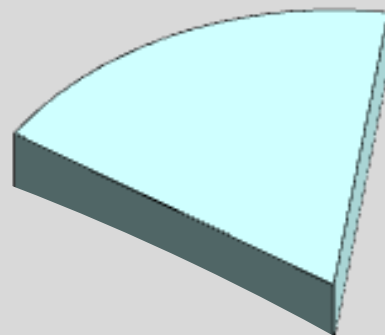
脊椎圧迫骨折	35	平均 79才
腰部脊柱管狭窄症	23	
変形性脊椎症	13	
腰椎椎間板ヘルニア	10	
腰椎すべり症	9	
その他	7	
男女比 33:64	97	平均 73.8才 (28才～99才)

アンケート回答数: 50 (回答率: 52. 0%)

結果

3ヶ月以上
6ヶ月以内

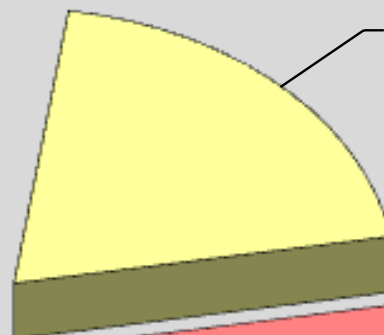
18%



装着期間

6ヶ月以上

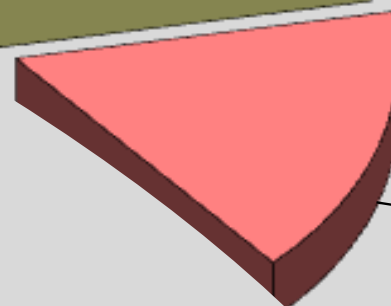
20%



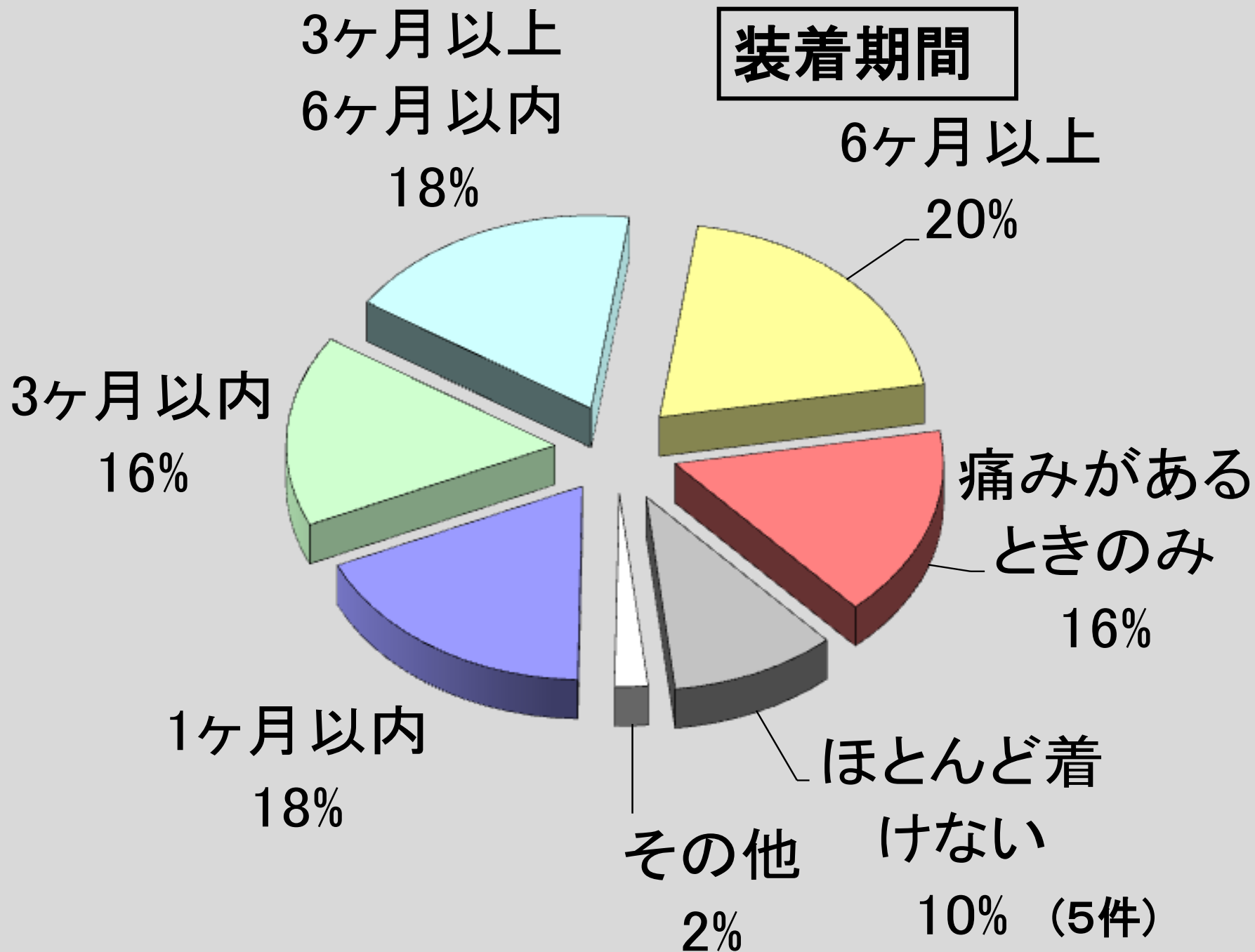
痛みがある

ときのみ

16%



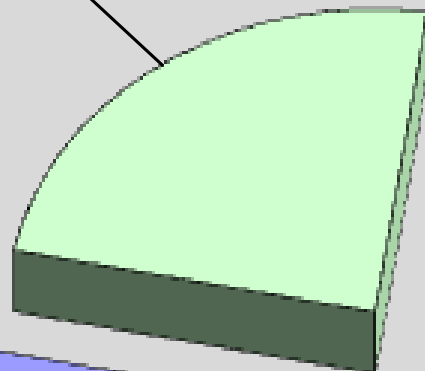
装着期間



装着時間

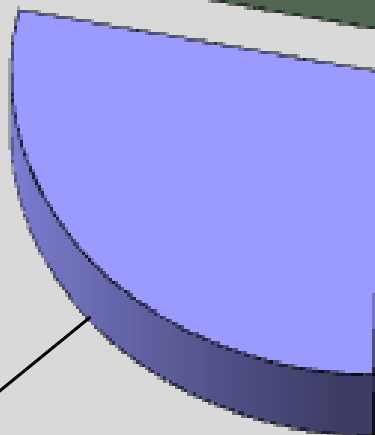
家に居る間

24%



一日中

28%



装着時間

家に居る間
24%

一日中
28%

痛みがあると
きだけ
14%

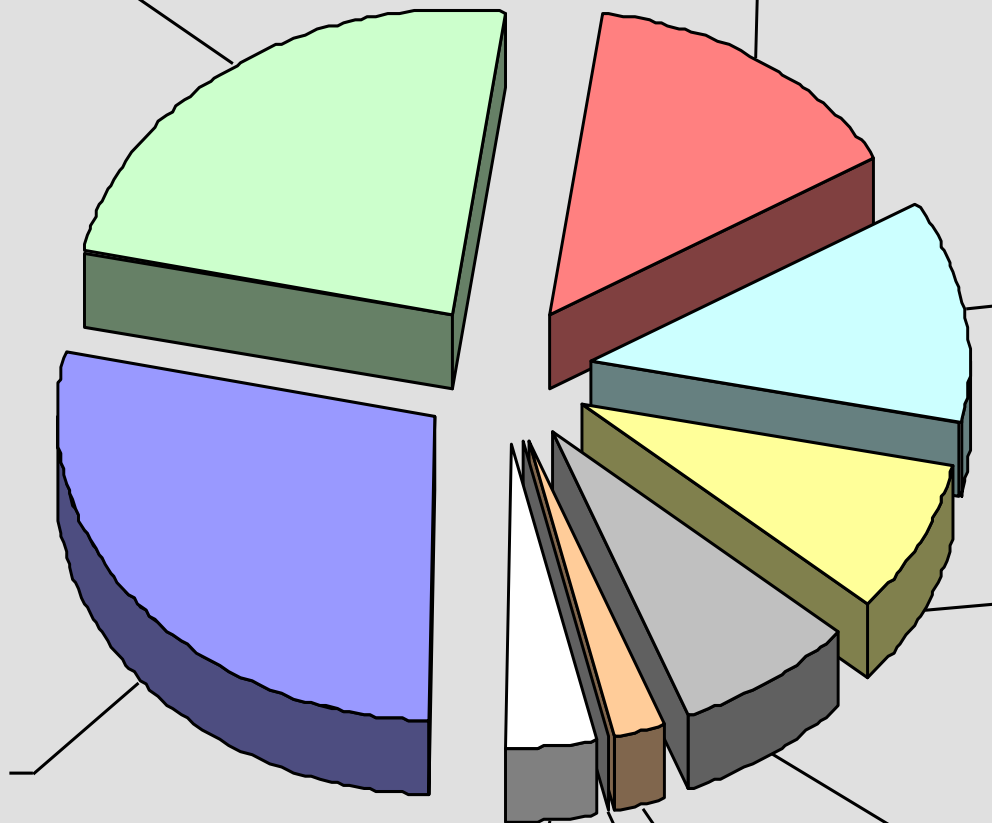
昼間
12%

外出中
8%

ほとんど着け
ない
8% (4件)

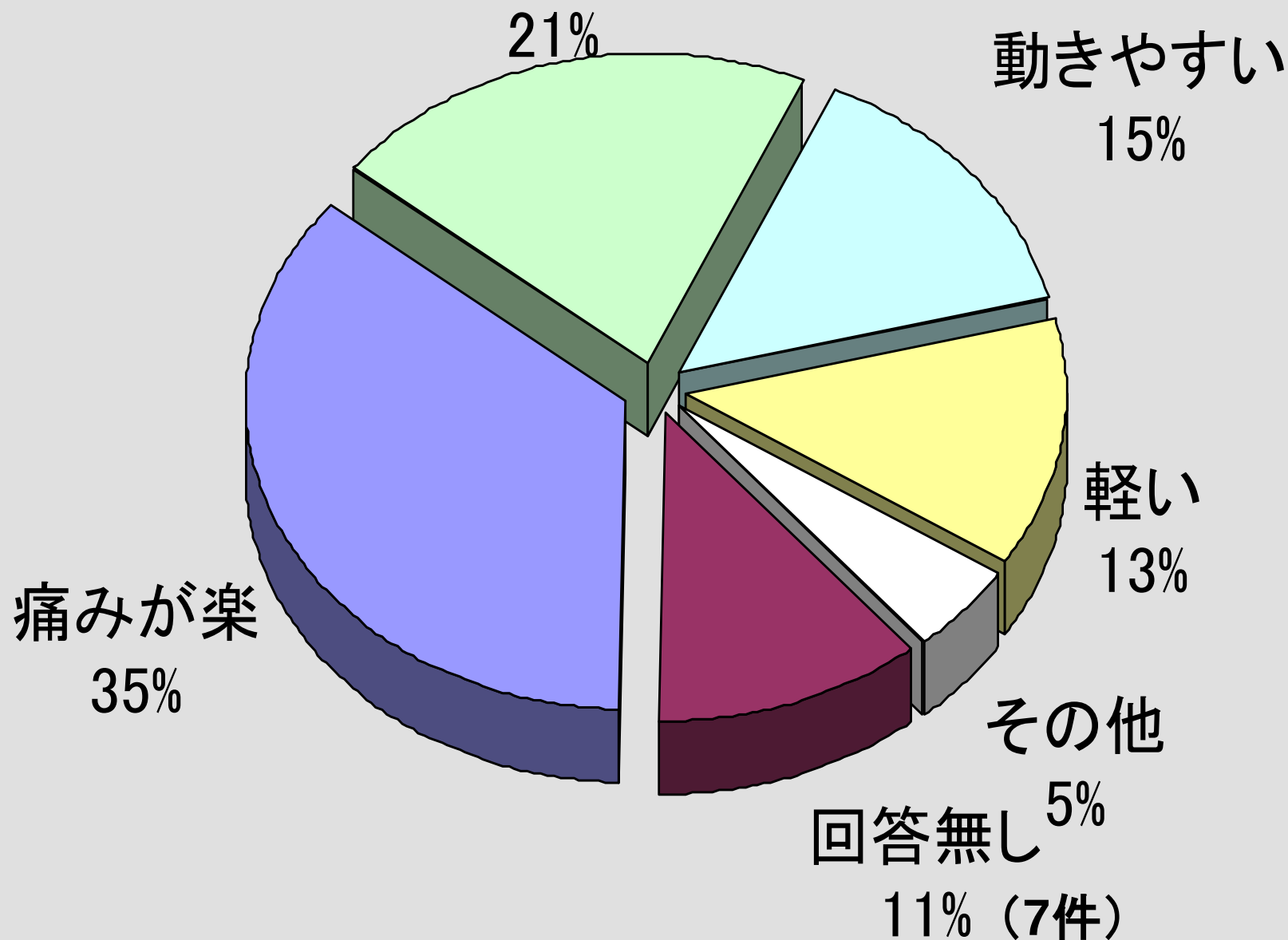
午前中
2%

夜間
0%

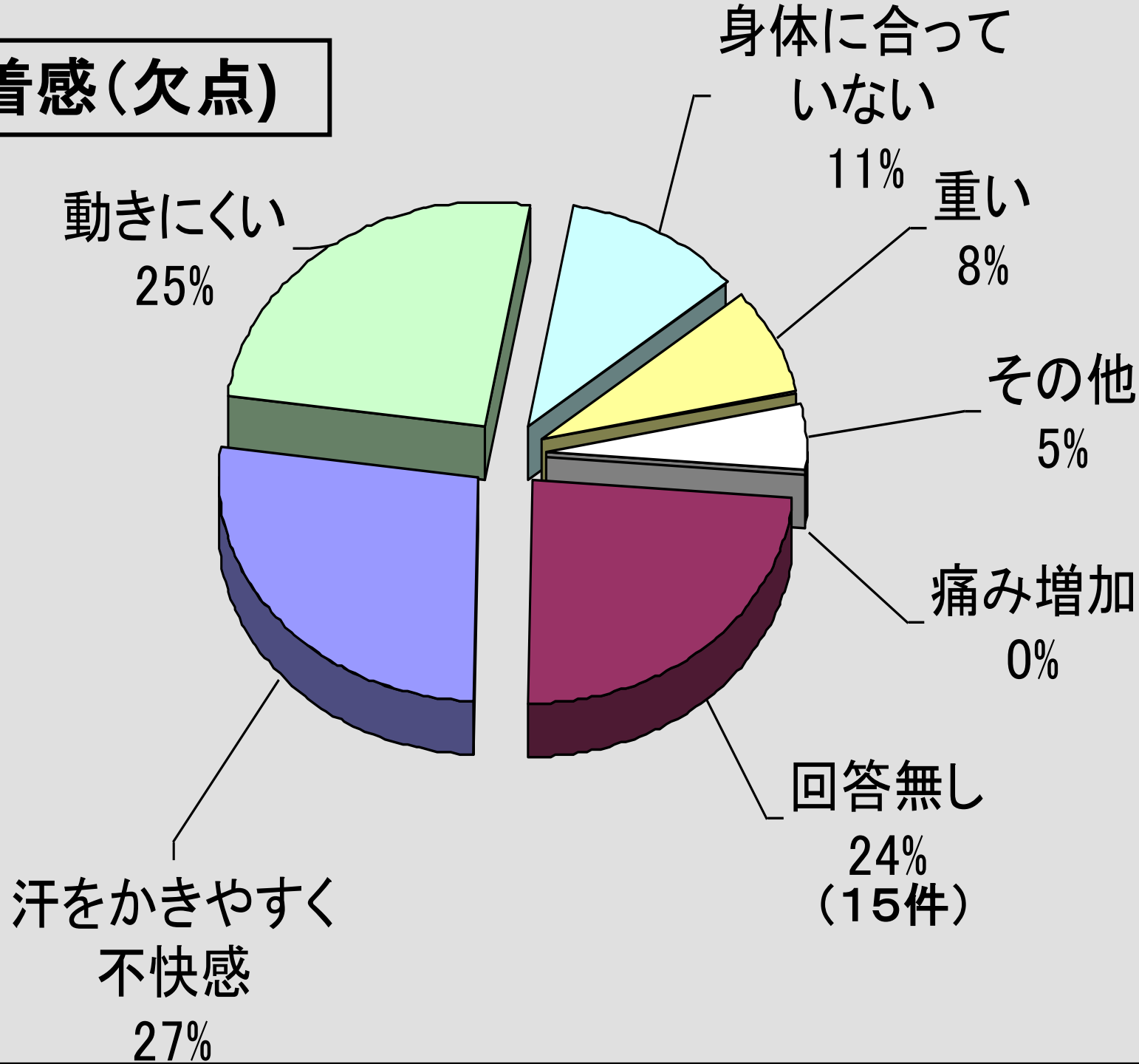


装着感(利点)

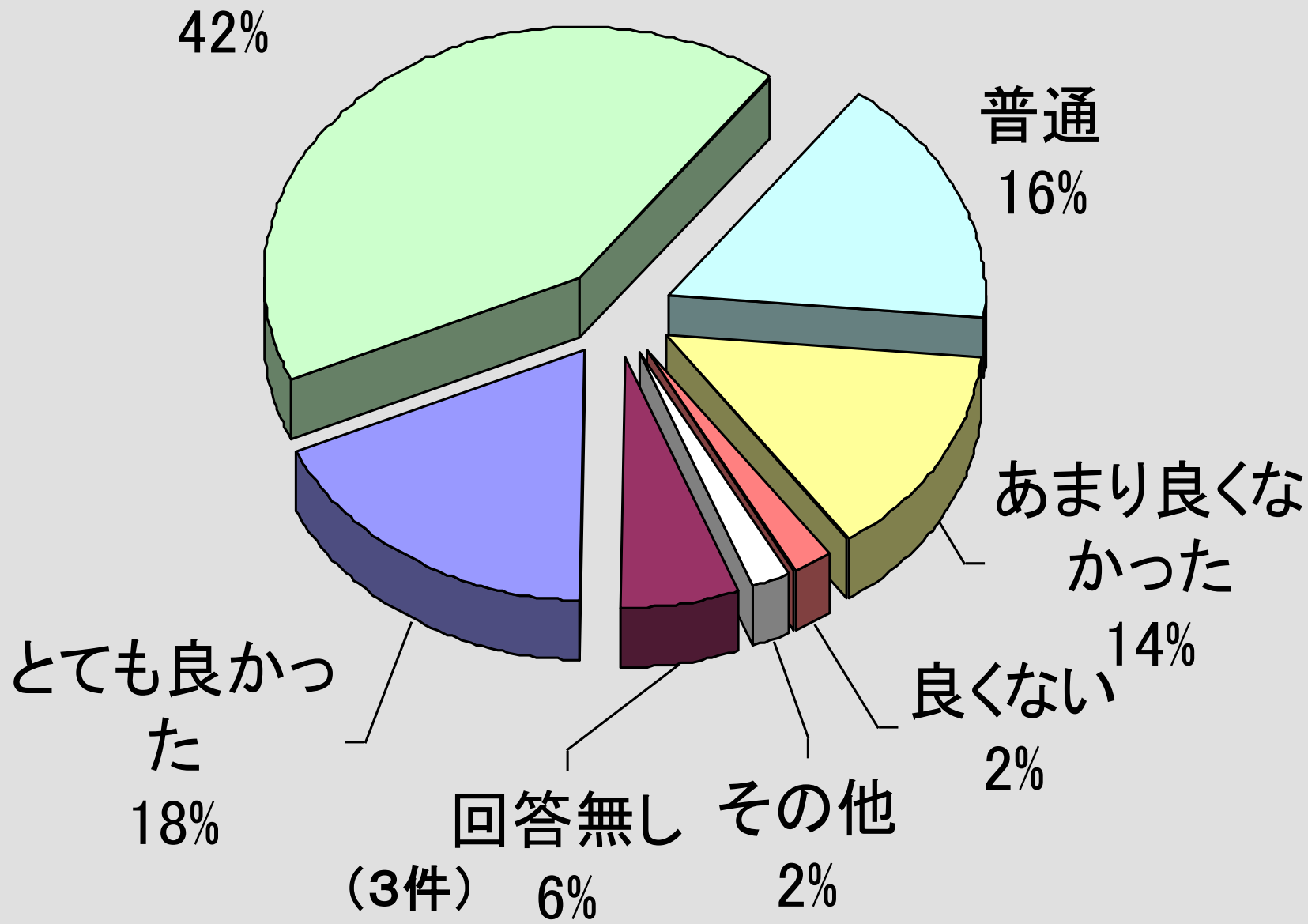
身体に合っ
ている



装着感(欠点)



装着しての感想



考察

1、フレキシブル半硬性コルセットの特長は背中の方が高いので安定した姿勢を保つことが出来る反面、前屈や身体の回旋が制限される為に動きにくい
痛みが強いときは身体の安定性が図られ鎮痛効果があるが、痛みが軽減すると動きが制限されてかえって違和感を持つと考えられた

2、今回の調査で脊椎圧迫骨折の方に処方が多かった 痛みの軽減を主目的にしているが、高齢者が多いために安静を取って、あまり制限の強い装具は好まれなかったと考えられた

3、慢性腰痛では急性腰痛と違い強い痛みを感じる時間はそれほど多くない可能性があり、ある程度の自由度がないと装着しない事が考えられた

4、汗による不快感は特に夏に生じるが、痛みが長引く場合はある程度の不快感は我慢して装着されている方がおられた 要は痛みの程度によって装着するかどうかが決まると考えられた

5、感想では60%の方は良かったと感じられている 恐らく痛みが軽減して動きやすかった事に起因すると考えられ、逆に16%の方々はあまり評価されなかったが、身体の制限されることの不快感がこの評価に現れたと思われる、痛みの少ない腰痛患者には合わないと考えれる

まとめ

- 1, 過去7年間に作製したセミフレキシブル半硬性コルセットについてアンケート調査を行った
- 2, 作製した97件についてのアンケート調査の回答は50件で回答率は52%であった
- 3, 装着期間は半数は3ヶ月以内で半数は3ヶ月以上使用していた
- 4, 装着時間は一日中以外では家に居るときと痛みがある時が多かった
- 5, 装着感の利点は痛みが楽、身体にあっているが多く欠点では汗による不快感と動きにくいが多かった
- 6, 感想としては60%は良かったと回答した
- 7, 痛みが強く持続する慢性腰痛患者には本装具の適応があり、痛みの少ない者には合わないと考えられる